



2025年3月期 第1四半期

# 決算補足説明資料

---

株式会社海帆

証券コード：3133

2024年8月13日



# 目次

---

I	会社概要 . . . . . p.2
II	2025年3月期 第1四半期決算概況 . . . . . p.6
III	計画の進捗状況 . . . . . p.18

# I . 会社概要

# 会社概要

会社名	株式会社海帆（かいはん）
所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号 名古屋総合市場ビル
連絡先	TEL 052-586-2666
創立	2003年5月
代表	守田 直貴
資本金	1,684百万円（2024年6月末日現在）
従業員	71名（94名）（2024年6月末日現在） ※ 使用人員は就業員数であり、（ ）外数は臨時従業員の平均人数（1日8時間換算）であります。 ※ 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。 ※ 従業員数は、海帆単体の人数を記載しております。
事業の内容	居酒屋を中心とした飲食店舗の企画開発及び運営 再生可能エネルギー資源を利用した発電所の開発、発電及び売電など
連結子会社	株式会社SSS 株式会社大三萬年堂LAB KR ENERGY JAPAN合同会社 KR エナジー1号合同会社

# 社是・企業理念

---

## 【社 是】 幸せな食文化の創造

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新しい食文化の醸成を目的とし社会に貢献し人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。

## 【経営理念】 常により良い商品と真心のサービスを通じ、 お客様に美味しさと満足を提供します。

常により良い商品……成長性、収益性、経済性、安全性を高めた商品  
真心のサービス……お客様第一主義であること  
美味しさと満足を提供・顧客、従業員ともの感動満足を共有

# 沿革

年	月	主要な事項
2003	5	愛知県名古屋市守山区名駅四丁目15番15号に飲食店の経営を主な事業目的として、有限会社海帆(資本金3,000千円)を設立
	6	名古屋市守山区に第1号店として、「なつかし処昭和食堂 小幡店」を開店
2006	10	有限会社海帆を、株式会社海帆へ商号変更
2009	9	広告代理業務を内製化するために、有限会社アドハンを吸収合併
2010	8	昭和食堂を運営していた、「中京ニックス株式会社」から9店舗を一括取得
2012	3	株式会社魚帆を100%子会社化
2015	4	東京証券取引所マザーズ市場上場
2019	6	「立喰い焼肉 治郎丸」を事業譲受により取得
	12	「海鮮個室居酒屋 葵屋 浦和店」を事業譲受により取得
2020	1	株式会社魚帆を清算
2021	5	株式会社ファッツと「新時代」のフランチャイズ契約を締結
	7	三重県鈴鹿市、三重県津市、岐阜県大垣市、岐阜県岐阜市の既存店を「新時代」にリニューアルオープン
2022	4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、マザーズ市場からグロース市場へ移行
	7	株式会社SSSの株式を取得し子会社化
	10	再生可能エネルギー事業参入のため、当社子会社としてKR ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日商号変更)を設立
	12	当社子会社への第三者割当増資により、休眠会社であった株式会社エストを株式会社大三萬年堂LABへ商号変更
2023	3	匿名組合出資によるKRエナジー1号合同会社を子会社化

## Ⅱ. 決算概況

# 第1四半期 トピックス

---

1

売上高の前年同期比は**105.9%**、売上総利益の前年同期比は**106.5%**

2

飲食事業に関しては引き続き好調で、セグメントの黒字を維持

3

再生可能エネルギー事業に関しては、売電による売上高が徐々に増加

4

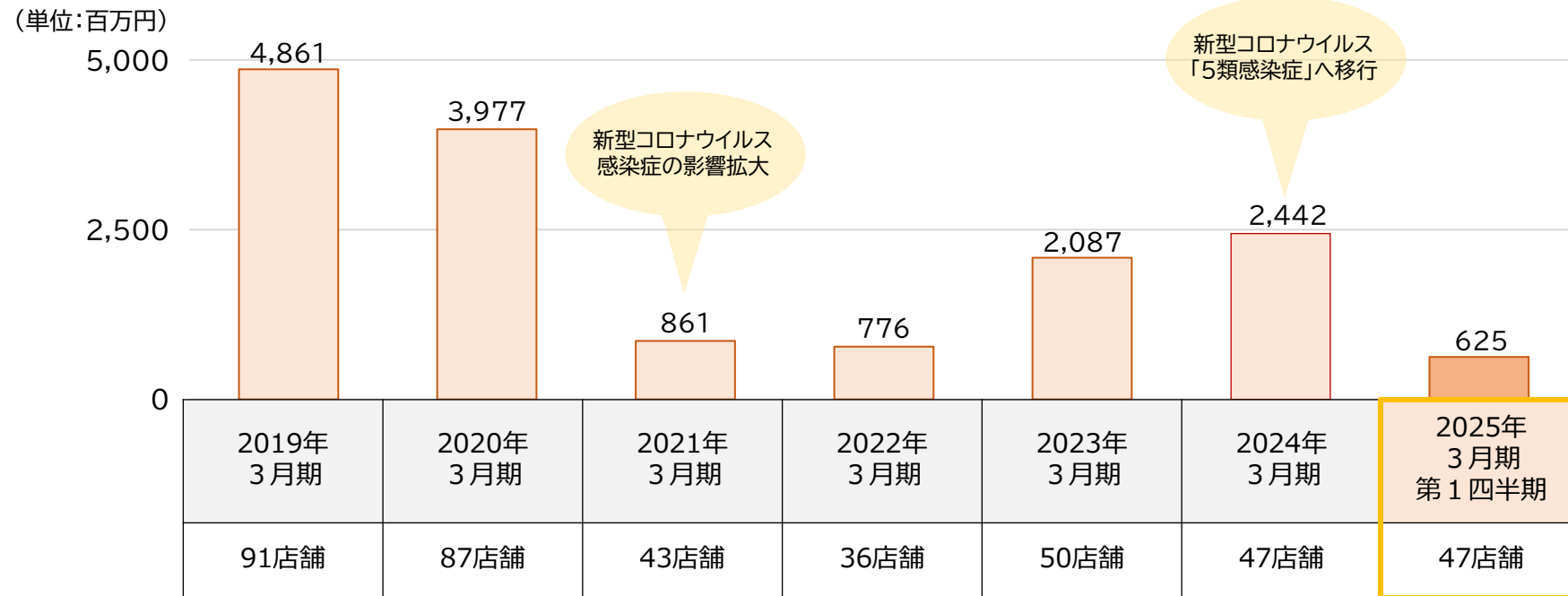
メディカル事業への参入



# 売上高の推移（連結）

第1四半期の売上高は625百万円で着地し、前年同期比は105.9%となっております。

飲食事業の売上高が微増していることに加え、太陽光発電設備による売電の売上高が増加しております。



※ 1、2019年3月期までは連結決算、2020年3月期から2022年3月期は単体決算となっております。

※ 2、2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

※ 3、2023年7月より再び連結決算に移行しております。

※ 4、店舗数はFC店舗も含みます。

# 損益計算書サマリー

飲食事業においては、店舗数の大きな増減は無く安定した収益構造となっております。

再生可能エネルギー事業においては、売電収入の増加はあるものの引き続きコストが先行している状態でございます。

単位：百万円

		2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	
		連結	連結	増減
P / L 項目	売上高	591	625	34
	売上総利益	399	425	26
	営業損失(△)	△127	△115	12
	経常損失(△)	△123	△121	2
	税引前四半期純損失(△)	△151	△138	13
	親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	△144	23

※ 2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

# セグメント

飲食事業においては歴史的な円安水準の継続やインフレ率の高まりの中、売上原価率の削減に成功し、引き続き黒字を維持しております。

再生可能エネルギー事業においては、完成した太陽光発電設備による売電売上の発生と、コストの減少によりセグメント損失は前年同期と比較して19百万円改善しております。

<2025年3月期第1四半期 セグメント>

単位：百万円

	報告セグメント			その他	調整額	連結財務諸表計上額
	飲食事業	再生可能 エネルギー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	609	9	618	7	—	625
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	609	9	618	7	—	625
セグメント利益又は損失（△）	37	△16	21	1	△138	△115

# 貸借対照表サマリー

2024年3月末において手形貸付であった借入金が証書貸付に変更されたことにより、流動負債(短期借入金)が減少し、固定負債(長期借入金)が増加したため、流動比率および現預金比率が変動しております。

単位:百万円

		2023/3期末 連結	2024/3期 連結	2025/3期 第1四半期 連結
B / S 項目	総資産	2,660	3,616	3,201
	負債	2,369	2,726	2,446
	(うち借入総額)	1,180	1,724	1,654
	純資産	290	890	754
指標	自己資本比率	9.6%	24.6%	23.3%
	流動比率	88.1%	58.8%	91.6%
	現預金比率	23.6%	40.0%	56.3%

※ 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本(他人資本+自己資本) × 100 (%)  
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)  
現預金比率 = 現預金 ÷ 流動負債 × 100 (%)

# 飲食事業

第1四半期における飲食事業の売上高は、  
コロナ後で**過去最高売上**

売上高 **609** 百万円

前年同期比 103.0%

飲食事業においては**黒字**を維持しており、引き続きお客様よりご好評をいただいております。

コストバランスも安定してきており、食材ロスの削減による原価率の改善や、業務改善の見直しを行う事で不要コストの削減も行っております。

# 飲食事業

昭和食堂、えびすや



治郎丸



葵屋



新時代(FC加盟)



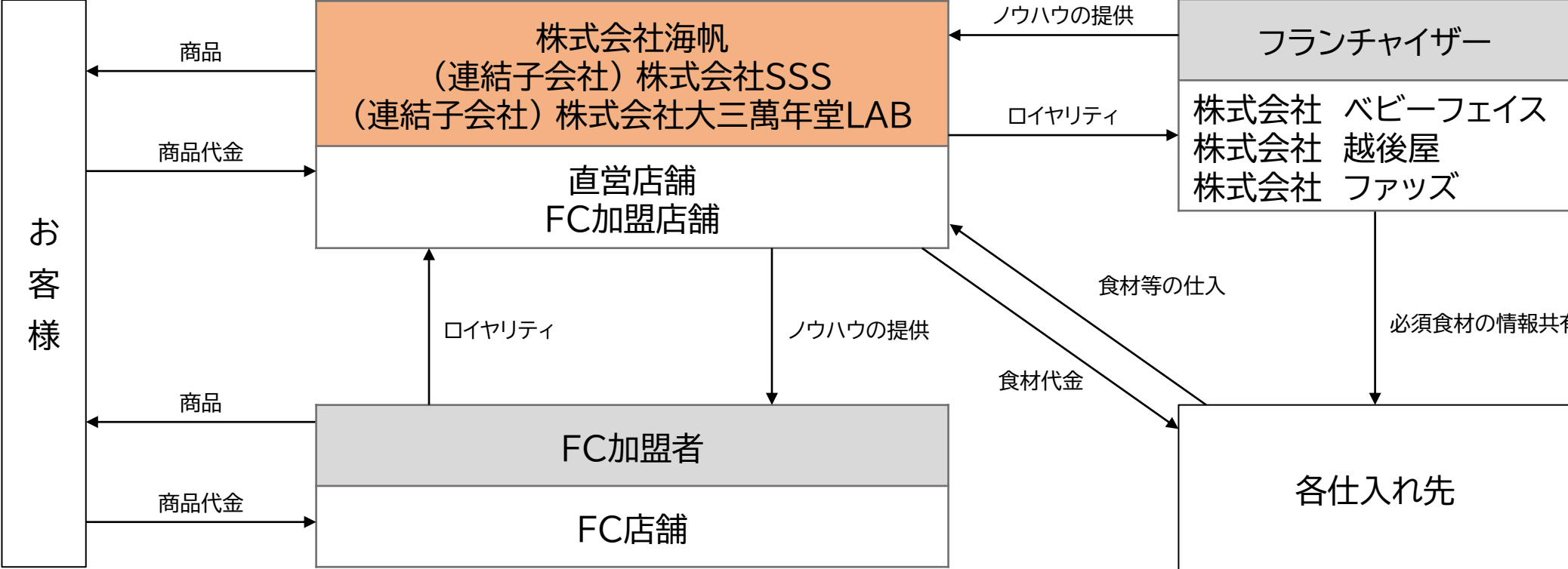
BABY FACE PLANET'S (FC加盟)



しんぱち食堂(FC加盟)



# 飲食事業のビジネスモデル



# 再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業の一つとして、太陽光発電設備の開発・建設に着手しております。

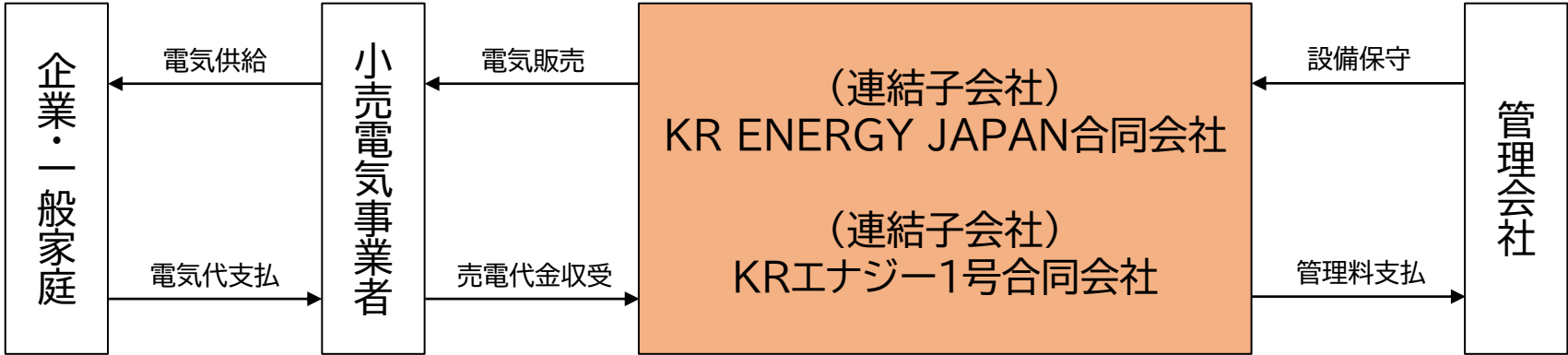
新型コロナウイルス感染症等の拡大によるパンデミック発生時においても、安定的な収益基盤を築くこと、また世界的な脱炭素社会にむけて少なからず貢献できると考え、事業を推進しております。



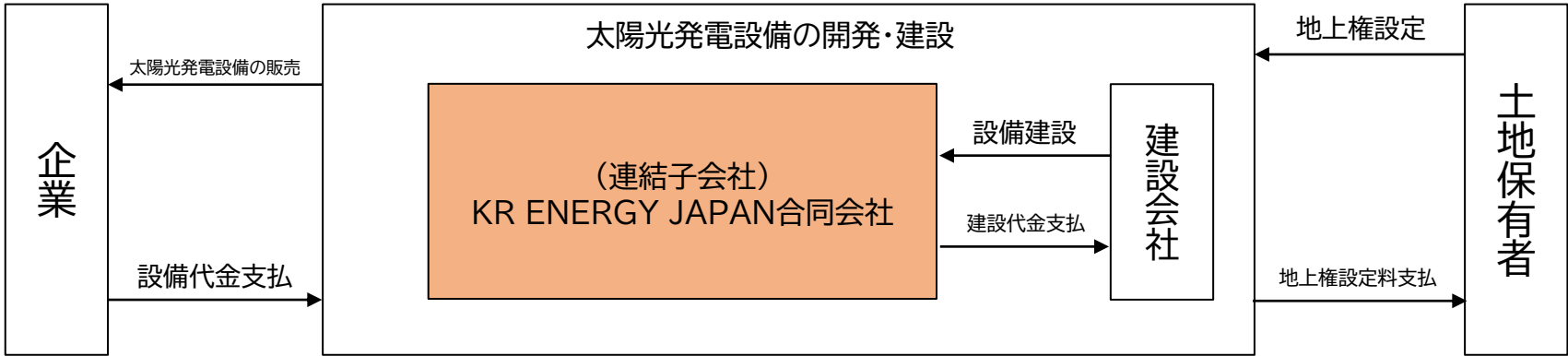


# 再生可能エネルギー事業のビジネスモデル

## 太陽光発電による電力の主な売買フロー



## 太陽光発電設備の開発・建設と販売



# メディカル事業

2024年2月6日に開示しました「(開示事項の変更)固定資産の取得に関するお知らせ」のとおり、クリニックの開業からマーケティング、広告、プロモーションなどの運営に係る支援を行えるような事業の確立に向けて、現在は「医療法人社団修永会」が運営する美容クリニック(ZiMA CLINIC)の支援を行っております。

また、2024年7月4日に開示しました「簡易株式交換による株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの完全子会社化のお知らせ」の通り、メディカル事業を専門に行う子会社を取得することにより、医療法人とより深い信頼関係を構築し、更なる事業規模の拡大を目指してまいります。



写真：愛知県名古屋市 ZiMA CLINIC 受付

## Ⅲ. 計画の進捗状況

# 業績予想

第1四半期時点においては、2024年6月25日開示の「[事業計画及び成長可能性に関する事項](#)」に記載されている業績予想の達成率は以下の通りです。なお、メディカル事業の開始に伴う連結子会社化に伴い、業績の予想は変更を予定しております。数値の精査が終わり次第、公表いたします。

単位：百万円

	2023/3期 累計期間	2024/3期 累計期間	2025/3期 累計期間	2025/3期 第1四半期	達成率 (%)
	連結	連結	連結予想	連結	
売上高	2,087	2,442	2,697	625	23.2%
売上総利益	1,377	1,646	1,886	425	22.5%
営業損益	△601	△587	△226	△115	—
経常損益	△633	△568	△273	△121	—
当期純損益	△1,135	△712	△355	△144	—

# 飲食事業

既存店舗においては引き続き好調であり、新たな販促活動への取り組みや人材採用、教育制度の整備、人事評価制度の再構築などを行い、今後の事業拡大にむけて基盤を固めてまいります。



新規出店に関しましては、再生可能エネルギー事業における太陽光発電設備の物件取得や開発、建設を優先しているため、急激な店舗数の拡大は予定しておりませんが、継続的に当社のニーズに合う物件取得に向けて動いておりますので、出店の際は別途適時開示にてお知らせしてまいります。

# 再生可能エネルギー事業

## ◆ 長期売電契約

安定的な長期売電契約に基づき、16.335MW-AC のNon-FIT低圧太陽光発電所のうち、既に5.99MW-AC (121区画)を取得建築中となっており、121区画に対する進捗率は71.3%となっており、今後も区画取得を加速し、再生可能エネルギー事業を拡大してまいります。

新たに区画の取得などを行う際は、別途適時開示にてお知らせいたします。



# 再生可能エネルギー事業

## ◆ 太陽光発電所

Non-fit低圧太陽光発電所の建設は2025年3月期末までに、330件の物件取得の完了を目指し、全ての物件が売電開始するよう計画を進めております。

2024年3月期 期末時点			2025年3月期 第1四半期～第2四半期			2025年3月期 第3四半期～期末		
売電開始	26件		売電開始	100件		売電開始	330件	
物件取得	121件	取得済	物件取得	220件	予定	物件取得	330件	予定



# 再生可能エネルギー事業

## ◆ ネパールにおける水力発電事業の検討

2024年2月29日に開示しました「ネパール共和国における水力発電事業(総発電量285.44メガワット)の包括合意契約締結に関するお知らせ」のとおり、ネパール共和国におけるベース電源の確保を目的とした水力発電所建設に係る事業を検討しております。

2024年5月14日にネパール共和国の政府関係者とネパール大使館(東京都目黒区)にて協議を行っております。

2024年6月5日には、当社代表取締役である守田と当社取締役会長である國松がネパール現地に赴き、ネパール政府関係者および現地での協力予定法人等と、水力発電所建設に関して協議を行っております。

2024年8月4日には、水力発電所建設予定地に守田が訪問し、現地の法律専門家や日本のデューディリジェンス専門家等を交え、現地でのデューディリジェンスを開始致しました。

本件に関しましては、ネパール政府関係者及び現地協力予定法人並びに海外金融機関、電力建設事業者など多くの協力者がいる中で、様々な内容を慎重に決定する必要があるため、内容が決定次第、別途適時開示にてお知らせしてまいります。



(左から当社取締役会長 國松、HIM氏、Durga大使、当社代表取締役 守田)



(建設予定地)



# メディカル事業

---

## ◆ 新たな子会社の取得を決定

2024年4月4日に開示しました「株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの株式取得に向けた基本合意書締結のお知らせ」のとおり、当社事業全体の構造改革を進める一環として、再生可能エネルギー事業以外に美容クリニック等の業務支援を行う事を目的とした事業への参入として、医療法人社団修永会の業務支援を行っております。

また、2024年7月4日に開示しました「簡易株式交換による株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの完全子会社化のお知らせ」の通り、メディカル事業を専門に行う子会社を取得することにより、医療法人とより深い信頼関係を構築し、更なる事業規模の拡大を目指してまいります。

本件は、医療法人大美会の経営管理や総務業務のサポートを行っている株式会社BOBSおよび株式会社ワイデンの株式を株式交換により取得し、蓄積された業務のノウハウを活用することで、当社のメディカル事業の成長に寄与すると考えております。

# メディカル事業 詳細①

---

## ◆ MS法人(Medical Service法人)による事業の拡大

2024年8月30日より完全子会社となる株式会社ワイデン及び株式会社BOBSによる医療法人向けサービスにより、当社の医療分野への事業拡大が具現化されます。両社は医療法人大美会(大阪府大阪市)の医療行為以外の分野において業務を受託しており、広告宣伝・予約管理・集客・経営管理など医療法人におけるの経営における主業務を担っております。6院のクリニックを傘下に持つ医療法人大美会は、更なる拡大を計画しており、比例して当社子会社の業務範囲も拡大していく計画をしております。

また、両社による医療法人向けのサービスは医療法人大美会だけにとどまらず、現在も多くの医療法人向けに営業活動を広げており、当社が同様のサービスを提供することにより、医療法人にとっては医療に専念ができ、双方にとって拡大のきっかけになると考えております。当社が提供するサービスは更なる拡充を計画しており、今後は人材・医療機器販売・新規物件取得など開業向け支援サービスも検討しております。

今後、新たな契約等については、決定事実があり次第、適時開示にてお知らせしてまいります。

## メディカル事業 詳細②

### ◆ メディカル事業における業績への寄与

本件が当会計年度における業績への影響は現在精査中であり、当社公表済の業績予想には反映しておりません。  
現時点においては、すでに事業を行っている2社を取得することにより、当社の業績改善に寄与すると考えており、赤字額の縮小を見込んでおります。

影響額につきましては2024年8月30日の株式交換効力発生日以降に判明次第、適時開示にてお知らせいたします。



写真：愛知県名古屋市 ZiMA CLINIC 受付



写真：大阪府大阪市 大美学クリニック

## — 本資料等に関する注意事項 —

本資料につきましては、当社グループが現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものが含まれており、これらとは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。従って、実際の業績が、本資料の予想とは大きく異なる可能性がございます。

各データや資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、あくまで当社をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

【お問合せ先】

株式会社海帆 IR担当

E-mail : [ir@kaihan.co.jp](mailto:ir@kaihan.co.jp)